

令和2年度 一番茶萌芽・生育状況報告

佐賀県茶業試験場

1. 萌芽期

本 年	前 年	前2か年平均
3月27日	3月28日	3月29日

2. 生育状況

調査日	4月5日	4月10日	4月15日	4月20日	4月25日	4月30日
芽長 (cm)						
本 年	1.3 ± 0.4	2.1 ± 0.6	3.4 ± 0.7	5.6 ± 1.0	7.7 ± 1.1	10.7 ± 1.3
前 年	1.3 ± 0.3	2.8 ± 0.6	4.6 ± 0.8	7.7 ± 1.0	10.6 ± 1.4	-
前2か年 平 均	1.8 ± 0.5	3.5 ± 0.8	6.1 ± 1.0	9.1 ± 1.3	12.1 ± 1.7	-
葉数 (枚)						
本 年	0.3 ± 0.3	1.1 ± 0.4	1.7 ± 0.4	2.5 ± 0.3	3.2 ± 0.4	4.2 ± 0.3
前 年	0.5 ± 0.3	1.4 ± 0.4	2.4 ± 0.4	3.4 ± 0.4	4.4 ± 0.4	-
前2か年 平 均	0.7 ± 0.3	1.4 ± 0.4	2.5 ± 0.5	3.4 ± 0.4	4.4 ± 0.4	-

3. 晩霜と最低気温

終霜月日	本年	4月6日(0.7)	前年	4月13日(3.6)
最低極温	本年	2月6日(-2.9)	前年	1月4日(-3.2)

注) 終霜月日は日最低気温4 以下を目安に判断

4. 供試茶園の概況(平成30年度より作況調査ほ場を変更)

- (1) 品 種 名: やぶきた
- (2) 樹 齢: 19年生
- (3) 樹 高: 75cm
- (4) 株 張 り: 156cm
- (5) 栽植様式: 畝幅 180cm、株間 50cm、条間 50cm(二条植え)
- (6) 施肥量: N : P : K = 50 : 20 : 18 kg/10a(年間7回分施)

5 . 概要

1) 気象条件 (茶業試験場内観測)

(1) 気温

1 月から 4 月の平均気温は、1 月上旬から 2 月下旬および 3 月下旬は前 5 か年平均より高く推移し、3 月上中旬は前 5 か年平均並みであった。4 月上旬から下旬は前 5 か年平均より低く推移した。

(2) 降水量

1 月から 4 月の降水量 (積算値) は、1 月 133.5mm (前 5 か年平均比 190%、以下同様)、2 月 149.0mm (170%)、3 月 168.0mm (126%)、4 月 109.0mm (47%) であり、1 ~ 3 月は前 5 か年平均より多かった。4 月は、中旬は前 5 か年平均比 131% と多かったが、上旬は前 5 か年平均比 21%、下旬は降雨が無く、非常に少なかった。

1 月から 4 月までの期間降水量は前 5 か年平均比 107% であった。

(3) 日照時間

1 月から 4 月の日照時間 (積算値) は、1 月 93 時間 (81%)、2 月 140 時間 (113%)、3 月 167 時間 (95%)、4 月 232 時間 (136%) であり、1、3 月は前 5 か年平均より少なく、2、4 月は前 5 か年平均より多かった。

(4) 降霜

作況調査ほ場において、一番茶萌芽後の 4 月 6 日に低温 (最低気温 0.7) に遭遇したが、被害はみられなかった。一方で、場内の防霜ファン等の設備がない一部茶園において凍霜害がみられた。

2) 萌芽・生育状況

本年の萌芽期は 3 月 27 日で、前年より 1 日、前 2 か年平均より 2 日早かった。

萌芽後の生育は、4 月の平均気温が前 5 か年平均より低く、4 月上旬の降雨がほとんどなかったことから、新芽の初期生育は前年よりやや遅れた。その後、4 月中旬にまとまった降雨があったものの、低温が続いたことで生育が遅れ、芽の伸長および葉の開葉は前年より 5 日間程度遅れて推移した。

萌芽から摘採までの所要日数は 34 日間 (積算温度 417) で、前 2 か年平均の 28 日間 (積算温度 397) より 6 日長かった。

3) 病害虫の発生状況

作況調査ほ場で一番茶の生育および収量に影響を及ぼすほどの病害虫の発生はなかった。

令和2年度 一番茶実収報告

佐賀県茶業試験場

1. 摘採日

本 年	前 年	前2か年平均
4月30日	4月25日	4月26日

2. 生葉収量 (kg/10a)

本 年		前 年		前2か年平均	
収 量	指 数	収 量	指 数	収 量	指 数
432.8 ± 12.3	68	576.8 ± 78.6	91	634.3 ± 52.7	100

注) 指数は前2か年平均を100とした値(以下同様)

3. 百芽重 (g)

本 年		前 年		前2か年平均	
重 量	指 数	重 量	指 数	重 量	指 数
61.9 ± 6.9	75	81.8 ± 6.8	100	82.1 ± 5.9	100

4. 新芽数 (本/m²)

本 年		前 年		前2か年平均	
芽 数	指 数	芽 数	指 数	芽 数	指 数
1292 ± 161	102	1228 ± 90	97	1272 ± 128	100

5. 出開度 (%)

本 年	前 年	前2か年平均
28.3 ± 1.5	32.6 ± 6.9	31.5 ± 6.8

6. 作況調査園の概要

1) 摘採日

摘採日は、4月30日で前年より5日、前2か年平均より4日遅かった。

2) 収量

本年の生葉収量は433kg/10aで、前2か年平均比68%であった。

百芽重は61.9gで、前2か年平均比75%と少なく、新芽数(本/m²)は1292本で、前2か年平均比102%とほぼ同等であった。

出開き度は28.3%で、前年および前2か年平均よりやや低かった。

7. 本県の概要

1月から3月にかけて平均気温が前5か年平均より高く推移したことで芽の動き出しも早く、萌芽期は前年より1日、前2か年平均より2日早かった。

しかし、萌芽は早かったものの、4月に入ってから低温が続き、少雨(前5か年平均比47%)となったことから、萌芽後の生育は前年より5日間程度遅れて推移した。特に芽伸びが悪く、萌芽から摘採までの所要日数は34日間で、前2か年平均の28日間より6日長かった。新芽数は前2か年平均並みであったが、百芽重が前2か年平均より少なかったことから収量は少なかった。

病害虫については、カンザワハダニ、ツマグロアオカスミカメの発生がみられたが、一番茶の生育、収量への影響はなかった。

(参考)

気象概況 (2020年1月上旬～4月下旬、嬉野市)

観測点：嬉野アメダスポイント

